

なぜ屋外用(防雨型)の配線器具を使用しなければならないのか？

●屋内型と屋外型(防雨型)の違い

湿気または水気の少ない普通の屋内の場所における使用に適する性能を有するものを屋内型といい、風雨雪及び直射日光にさらされる場所における使用に適する性能(防雨構造)を有するものを屋外型といいます。使用場所に応じて屋内型／屋外型(防雨型)のいずれかをお選びください。なお、防雨性能を維持するためには、接続するプラグも防雨型を使用する必要があります。

安全のため、下記のように法令で規定されています。

労働安全衛生規則 第337条

「事業者は水その他導電性の高い液体によって湿潤している場所において使用する移動電線又はこれに付属する接続器具で労働者が作業中又は通行の際に接触するおそれのあるものについては当該移動電線又は外装が当該導電性の高い液体に対して絶縁効力を有するものでなければ使用してはならない。」

内線規定 3435節-4

「湿気の多い場所又は水気のある場所で使用する電動機その他の電力装置は、湿気又は水気の程度に応じたものを使用するなどその場所に適した構造のものであること。」



注意

安全のため屋外では、必ず「**屋外用防雨型リール**」を使用してください。

安全にご使用いただくために、接続する機器、器具のプラグは防雨型プラグを使用してください。

例えば

- 工事現場の仮設電源
- イルミネーションの電源^{など}
- 屋外看板の電源
- イベントでの屋台照明
- 屋外での機器使用時

